



正賞 (住宅建築部門)

島山武史氏

海をのぞむ家 (うるま市)



正賞 (一般建築部門)

石川保氏

SOLA沖縄医療保健工学院

(宜野湾市)



住宅新聞社賞

大城貢氏

ヴァナキュラー・クリエイト
・アパートメント (沖縄市)



豊かな独創性と表現力

沖縄建築賞 来月8日から作品展示

第1回沖縄建築賞で入賞した7氏の作品は沖縄の気候風土を反映した独創性や表現力、時代のニーズを踏まえた企画・技術力、機能性に優れ、地域貢献や建築文化の向上などの視点が際立った。最も優秀な正賞2部門、正賞に次ぐタイムス住宅新聞社賞の3作品と講評を紹介する。(一面参照)

同賞は建築士の社会的地位や技術の向上、若手人材の発掘・育成が目的。県建築士事務所協会の創立60周年記念事業として、県建築士会、日本建築家協会沖縄支部、タイムス住宅新聞社で実行委員会を構成した。建築主要3団体合同の顕彰事業は初めて。

3月22日～4月24日に申し込みを受け付け、住宅建築部門に26件、公共施設や商業施設などの一般建築部門に21件、計47件の応募があった。世界の建築に

詳しい建築家の古市徹雄氏、版画家の名嘉睦穂氏、建築3団体の代表ら7氏が審査委員を務め、書類や現地審査を経て、入賞作品7点を選んだ。

講評

表彰式が行われる6月8日から、タイムスビル2階ギャラリーで入賞・応募作品の展示会を開く。正賞、沖縄タイムス住宅新聞社賞以外の入賞は次の各氏・作品。(敬称略)

住宅建築部門で正賞に選ばれた島山武史氏の「海をのぞむ家」はうるま市に、太平洋を望む高台に建つ職住一体型の平屋。海に面した東側の開口部を大きく取り、眺めを取り込んだ。「室内と景色の一体感、風の抜けやすさ」が評価された。

一般建築部門の正賞、石川保氏の「SOLA沖縄医療保健工学院」は宜野湾市に、医療系専修学校の5階建て校舎。各教室をボックス型にし、平面的かつ立体的な外部空間を作り出した。「縦横につながる大胆な外部空間の開放感、生徒たちの居場所をつくる提案」が認められた。

両部門から1作品を選ぶタイムス住宅新聞社賞は大城貢氏の「ヴァナキュラー・クリエイト・アパートメント」は沖縄市に、市の中心部にある3階建ての集合住宅兼オフィス。緑を多く取り入れ、建物を斜めに配置することで、間口の狭い敷地を有効利用した点が評価を集めた。